

# 著名工事 視察の手引

## 5 月 調 査 ○ ト ン ネ ル ○

①丹那トンネル工事 (熱海建設事務所) ②延長 25,614呎、形狀、複線圓弧形高さ22呎6吋、幅25呎 (勾配)南坑門より四百四十分の一上り勾配西坑門起點より、822呎より11,451呎間三百分の一、(覆工)側壁は場所詰混泥土、穿拱は混泥土塊積 (一部分煉瓦石を使用せし所あり)厚さは2呎1吋乃至4呎5吋半(掘鑿方式)主として澳太利式に依る(排水隧道)内法り高さ幅共に6呎排水能力一秒時間約150立方呎の排水専用隧道を主體隧道の左側に50呎以上を隔て全長に亘り築造す排水隧道の底面は主體隧道施工基面以下5呎2吋とす ③隧道掘鑿其他工事用原動力とし總て電力を使用せり而して本隧道兩口諸設備は東口(熱海)主要遞降變壓機3個、高壓空氣壓搾機3臺、回轉變流機2臺、電氣機關車5臺、「ターボ」送風機2臺、パツチャーブランチ一組、西口(大竹)大竹火力發電所一個所、主要遞降變壓機3臺、高壓空氣壓搾機3臺、低壓空氣壓搾機4臺、回轉變流機4臺、電氣機關車6臺、電氣機關車6臺、換氣機2臺、材料運搬専用蒸氣鐵道延長約2哩、尙附帶設備として救護所を設置し醫員を專屬せしむ ④工事現状東口は昨夏10100附近の斷層に出會以來多大の困難をなしたるも本春以來施工したるモルタル注入法大成功し目下其部分擴鑿中なり、今後は進行見るものあるべし。西口は隧道中心より60呎距り水抜坑を設け排水及地質調査を兼ね掘鑿す。之本隧道の最先進坑とす目下地質は集塊岩にして一日平均進行約7呎、底設導坑は水抜坑より約220尺後方にあり、疊築工は約9,800呎進行し、湧水總量1秒時38.5立方呎、各工事とも順調の進行を辿り、先進坑は丹那盆地の中央に達す。

底設導坑 東口 10,105呎 西口 底設 11,582呎  
水 抜 坑 同 10,130呎 同 11,802呎  
⑤鐵道省建設局、監督主任者、熱海線建設事務所長鐵道技師 川口愛太郎氏、現場監督者(熱海)派出所主任鐵道技師 岡野精之助氏、詰所主任 主事 幅島龍八氏、(大竹)派出所主任 鐵道技師 橋本鐵一郎氏、詰所主任 石川技師 發電所主任 鐵道技師 淡銀次郎氏 ⑥東口は鐵道工業株式會社主任田中仙太郎氏、西口は鹿島組主任 栗田政治氏。

⑦因美線物見隧道 (位置岡山縣吉田郡上加茂町物見及鳥取縣八頭郡那岐町宇塚に亘る中國山脈橫斷) ⑧物見隧道延長 3,074M, 76 にして内物見側 1,228m 27.4% 勾配  $\frac{3}{1000}$ 。那岐側延長 1,849m 49. 勾配  $\frac{20}{1000}$ 。地質花崗岩、隧道型式新中間型。掘鑿方法第三導坑、三交代、三爆破、混泥土道床及地質に於て側壁混泥土を避穴型に省略 ⑨物見口工事用諸機械設備は變

目下工事中の著名なるものを視察せんとする人の手引として本欄を設け、旅行の序に視るも良し、わざわざ視察に行く讀者には工事畫報社から御便宜を得らるる様に工事主任者へ御紹介を致しますから申込み下さい。

電所、空氣壓搾機インガーツルランド100HP及75HP。鑿岩機サリバンD×61。インガーツルBURW430、ライナー26、足尼式。混泥土ミキサー、クラッシュヤー、ケーブル、ホイスト。排水用ポンプ等又那岐口も物見口と同じく其の外換氣設備及びブリーチ用蓄電機關車。修理工場等あり ⑩昭和五年五月一日現在物見口導坑進行 1,042.1m。那岐口 1,330m にして一日平均進行那岐口は4m、物見口2.5-3m、疊築は那岐口側壁926m 拱890m 物見口側壁580m 拱546m 98. 五月一日現在なり ⑪鐵道省岡山建設事務所。物見口工區主任、服部技師。那岐口工區主任、森技師。兩口兼務主任吉原技師 ⑫物見口は株式會社橋本店、那岐口は鐵道工業株式會社詰負 ⑬物見口昭和六年七月、那岐口昭和六年九月竣工豫定 ⑭物見口は因美南線美作加茂驛下車自動車にて約一時間半、那岐口は因美北線智頭驛下車自動車にて約三十分。 ⑮那岐口に那岐山あり。

⑯清水トンネル工事 (上越南線及北線を連絡する清水峠の下を貫く東洋第一の長大隧道延長實に 31,331.8 呎) ⑰掘鑿方式は新澳式及上部開鑿式、隧道形狀は乙型及乙型變型即乙型のスプリング以下側壁を直にしたもの ⑱材料運搬用鐵道設備(電車蒸氣著電車カソリン車)變電所壓搾空氣設備、換氣機設備諸機械(鑿岩機其他)修繕工場設備、碎石、碎砂、木工場設備 ⑳昭和四年十二月二十九日導坑貫通目下功擴疊築工事中、土合は貫通後坑内信號場切坑(幅31呎)を爲し居り、一方覆工作業に全力を擧げ1ヶ月の進行1000呎のレコードを日ざして進行し、4月中の出來高は約9百呎。土椽口4月中の出來高は擴鑿新澳式第一切坑70呎、第二183呎、第三60呎、上部開鑿式天端235呎、先走363呎、土平296呎、疊築側壁120呎拱29呎なり ㉑鐵道省建設局監督主任技師土合口は東京建設事務所佐藤周一郎氏、土椽口は長岡建設事務所善如寺秀太郎氏 ㉒鐵道省直轄土合口東京建設事務所技手關野廣造氏、土椽口長岡建設事務所 技手沼崎寧氏 ㉓昭和6年3月 ㉔土合口は上越南線水上驛下車、土椽口は上越北線越後湯澤驛下車輕便にて土椽詰所に至る詰所より約一丁にして坑口 ㉕土合口に近く湯槍曾温泉、ループトンネル工事、土椽口に近くスキー場 隧道附近一帯、湯澤温泉、

## ○ 鐵 道 ○

㉖八高線建設工事 (埼玉縣入間郡加治村) ㉗入間川橋梁徑間 18,29m 13 連、其前後に 180,000 立米に及ぶ築堤を有す ㉘入間川河中にはラルセン式鐵矢板を使用、土工には加藤式カソリン機關車其他4臺を使用す ㉙入間川橋梁、根柢未着手の橋脚2本、詰

## 著名工事 視察の手引

負金額約50萬圓の半以上進工 ⑤鐵道省東京建設事務所、工區主任技師長谷川章平氏 ⑥前田組 ⑦昭和六年十月 ⑧山手線池袋驛より武蔵野線飯能驛下車徒歩20分 ⑨飯能天覽山、名栗。

①神戶驛、三宮驛、兵庫驛改築工事 ②高架線の下を100パーセント利用 ③混凝土工事用諸機械設備 ④神戶7分、三宮5分 兵庫7分通りの竣工 ⑤鐵道省神戸改良事務所 ⑥神戶驛大倉組吉田技手、三宮驛大林組廣川技師、兵庫驛錢高組小川技手 ⑦神戶11月、三宮10月、兵庫10月 ⑧三宮神戶兵庫の順に汽車及市電の便あり。

①大阪驛及高架線工 ②設計が近代的であること、基礎に特種の杭を使用してあること、地下50尺に大阪市高速度電鐵の停留所を驛構内に建設してあること ③機械力を極度に利用 ④目下杭打コンクリート施工、地下鐵掘鑿中 ⑤大阪改良事務所長木村芳人氏 ⑥清水組、大林組等 ⑦昭和8年 ⑧大阪驛構内裏。

### ○道 路○

①四谷區大木戸電車通りより千駄ヶ谷觀音町橋通りに至る 都市計畫事業街路一等大路第三類第三號路線築造工事 ②地勢比較的複雑にして鐵道線路、明治神宮線參道等を横斷する爲工作物の種類多し、路面はアスハルト鋪裝將來軌道豫定のヶ所は簡易鋪裝工施工 ③盛土の關係上直ちに鋪裝工事を爲すを得不得策とする一部分の鋪裝工事を除き大體完了 ④東京市土木局道路課 ⑤直營東京市土木局道路課立川技師 ⑦昭和五年七月下旬 ⑧市電四谷大木戸下車 ⑨明治神宮外苑、新宿御苑。

①四谷區新宿旭町地内道路工事 ②12間幅道路の中央に簡易鋪裝を施工し、車道交通頻繁のヶ所はアスハルト鋪裝延長約200間 ③西新井の東京市アスハルトプラントに於て配合して運ぶ ④大體竣工したるも一部買收用地の關係未解決のため工事中止中 ⑤東京市土木局道路課技師立川太市氏 ⑥直營工事、道路課技師大井川三平氏 ⑦未定 ⑧新宿ホテル屋前、市電追分下車。

### ○橋 梁○

①戸田橋架換工事（東京府北豐島郡志村、埼玉縣北足立郡戸田村立會、國道九號線荒川筋） ②橋臺間距離539米59、橋梁上部構造東京府寄洪水敷部長21米上路式鋼桁橋17連、埼玉縣寄低水敷部下路式木型橋一連徑間157米5中央徑間87米5側徑間35米中央部ワーレン式構橋43米76）橋床鐵筋コンクリート床版にアスファルトブロック鋪裝、基礎工事は木型構橋主要橋脚鐵筋混凝土造り二基、基礎井筒深

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主仕 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順 ⑨附近名勝地

41米及37米3、鐵板桁橋脚橋臺及び橋橋鎮礎用橋脚橋臺19基は末口10時長55呎、60呎、70呎の米松杭を基礎とし其上に鐵筋コンクリートを以て建造す、總工費金126萬9400圓 ④五月中旬までの工程、杭打十七橋脚中工事中は一橋脚、他は完成、橋臺一基完成他は工事中井筒橋脚の井筒は目下沈下作業中、深さ37.3mのものばあと1.0m沈下すればよし、深さ41.0mのものばあと6m沈下すればよし、但し井筒は沈下後其上下部に混凝土を以て底及蓋を打ちてより橋脚軀體の混凝土を施工するを以て橋脚全部の完成は九月下旬、工事中の杭打橋脚及橋臺はトラス鐵礎に關係あるものなり ⑤埼玉縣土木課高田技師設計監督 ⑥基礎工事間組請負 ⑦昭和6年3月。

①十三大工工事（大阪市東淀川區十三南ノ町） ②工事の特長は低水敷部に六個の潜函基礎を百尺下げ、洪水敷に十二個の橋脚、二個の橋臺の杭打基礎を施す。潜函の深度は日本に於ける最大のものなり ③潜函工事用機械は復興局及鐵道省より借入 ④橋臺橋脚基礎工事は目下八割了完了、六月上旬終了の豫定 ⑤大阪府土木部長牛島航氏、工務所長井下技師、潜函工事主任技師正子重三氏 ⑥工事請負は大林組、現場主任技師有本猪太郎氏 ⑦竣工豫定昭和六年十二月 ⑧大阪梅田驛より阪急電車にて十三驛 ⑨淀川新橋 大阪都市計畫事業路線一等大路第三類第二十四號線（天滿蒲生線） ⑩橋梁型式、三鉸拱橋徑間一〇八米 ⑪能力二五噸のゴライアスクレーンを桁組立に使用 ⑫下部構造完成、接付鋼板桁徑間橋床混土了、主徑間三鉸拱拱助架了、吊材並に床梁架設中なり ⑬設計者、大阪市技師堀威夫氏、監督主任鈴木千代藏氏 ⑭工事請負者、大林組、汽車製造株式會社 ⑮竣工豫定、昭和五年七月中旬 ⑯附近名勝、櫻宮公園、造幣局。

### ○河 川○

①信濃川補修工事（新潟縣三島郡大河津村附近） ②東洋一を誇りたる大河津分水自在堰が昭和二年六月陥没せる爲め之が復舊を目的とし同時に下流寺泊に至る分水路の補修工事をなすもの工費446萬圓 ③縮切工事にシートパイルを極度に利用し、サクソンドレッチャー、索道、スチームショベル、採石設備他土工用の大機械類を使用せり ④(1)可動堰工事目下假縮切を施して陸上作業を行ひつゝあり、基礎混凝土既に成り橋臺及橋脚上部混凝土施工中、(2)固定堰工事下流方面の石張工事殆んど竣工目下魚梯工事中、(3)第一床固工事殆んど竣工して餘は舊自在堰ヒヤと扉の除去を待つのみ、(4)第二床固工事洪堰右半部竣工目下左半部施工中 ⑤内務省新潟土木出張所長青山士氏、信濃川補修事務所（大河津所在）

# 著名工事 視察の手引

主任工學博士宮本武之輔氏 ⑥直營工事 ⑦昭和六年三月 ⑧舊越後鐵道線大河津驛下車 ⑨彌彦神社

①荒川下流船堀開門工事 ②基礎杭地形長23.3米のもの總計500本打込み鐵筋混凝土版を施工其上に側壁並に塔、捲揚機等を設備す。橋上には60馬力のモーターありて85噸の扉を1分間8米の速度にて上下げする。電力は100馬力ディーゼルエンジンに依る自家發電とす ③⑤内務省東京土木出張所長 眞田秀吉氏 ⑥内務技師原口忠次郎氏 ⑦竣工 ⑧府下小松川町より徒歩30分 ⑨龜戸天神。

①荒川改修工事 ②上流區域は堤外に數十の横堤ありて遊水地兼用の川となり、下流區域は一大放水路開鑿せらる。③ドラッグライン掘鑿機、ステイムシヨベル、ディーゼル機關車、淺濠船等 ④下流區域は殆んど完成し目下盛んに上流區域を工事中 ⑤内務省東京土木出張所長、眞田秀吉氏 ⑥内務技師笈武治氏、同原口忠次郎氏 ⑦上流區域は昭和十二年度、下流區域は昭和五年度 ⑧東北本線赤羽驛より下流は以下6里上流は以上15里熊谷町附近迄 ⑨秩父長壽寺、松山百穴、田島原櫻草、西新井大師、龜戸天神。

①北上川改修工事 ②北上川洪水量二十萬立方尺を大部分新川を開鑿して放流し、可動堰により水量の調節をなす ③開門洗堰各二ヶ所柳津町より飯野川町に至る新川(幅200間延長3里餘)には床固及可動堰を設く ④土木の大部分を終り、目下洗堰開門及床固可動堰工事を主とし、大體本年度中に竣工する見込 ⑤内務省仙台土木出張所設計、主任内務技師伊藤百世氏 ⑥全部直營工事 施工主任 技師福來總十郎氏、同池田徳治氏、技手大塚衛氏 ⑦昭和6年度 ⑧石巻工佳景山驛より乗合自動車にて柳津に至り同所より工事用トロにて飯野川に出て船にて追波川筋を見汽車或自動車にて石巻又は鹿又着 ⑨松島石巻等。

## ○港 灣○

①東京灣埋立會社鶴見工業港工事 ②埋立面積150萬坪、水深30尺錨地70萬坪、防波堤延長2,260間、縦横に運河を設けたる一大工事 ③1,100馬力ディーゼル電氣式、1000馬力750馬力250馬力200馬力等の電氣式サンドポンプ7隻を初め、混凝土ケーソン製造用船渠、機械修理工場、混凝土ヤード其他の設備を有す ④150萬坪の埋立完成、淺濠の少部分及横濱寄防波堤の一部分工事中、尙目下鶴見川河口埋立工事面積25萬坪工事中 ⑤取締役支配人關毅氏 ⑥直營工事 ⑦⑧省線鶴見驛より自動車で10分 ⑨埋立地内には三井埠頭、鐵道省、東電、日電等の火力發電所、日清製粉工場、ライジングサン、三井 日石、スタン

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥ 事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順 ⑨附近見勝地

ダード等の貯油並に製油所、東京瓦斯製造所、淺野造船所同製鐵所、芝浦製作所、旭硝子等の各工場あり

①横濱港改修工事 岸壁工事、埋立工事、淺濠工事 ②護岸のアーチ型扶壁體と岸壁に使用のケーソンは岡部博士の耐震設計 ③ケーソン製造用の經濟ドックあり、アーチ型特種コンクリート擁壁製作諸設備 土丹磐淺濠にテツパードレッツチャー使用 ④外國貿易設備としての岸壁は殆んど竣工し、目下内國貿易設備及外防波堤築造に主力を傾倒す ⑤内務技師(第一工場主任)鮫島茂氏、内務技師(第二工場主任)島野貞三氏 ⑥内務省横濱土木出張所直營⑦昭和11年3月末 ⑧横濱驛下車、内務省土木出張所迄徒歩3分 ⑨横濱市内に復興工事として視るべき道路、橋梁、河川、區劃整理、建築多數あり。

①敦賀港修築工事 (岸壁、防波堤、淺濠、埋立工事) ②深海に於ける防波堤工事 ③ケーソン及び方塊製作、進水設備、石材採り及び運搬設備、諸機械電動設備、淺濠船等 ④防波堤設計書延長310.9mの内180m竣工防砂堤設計書延長219mの内150m竣工、8.5米岸壁163.6mの内163.5m竣工 7.3米岸壁223.5mの内全部工事中、5.4米岸壁200mの内全部竣工 ⑤内務省名古屋土木出張所長辰馬鑑藏氏、工事主任千田正重氏 ⑥内務省名古屋土木出張所直營 ⑦昭和5年度(起工大正11年度) ⑧敦賀驛下車 ⑨金崎城址、氣比神宮(官幣大社)。

①鹿兒島港修築工事 防波堤工事、淺濠工事、舊臺場除却工事 ②防波堤はケーソンを使用す、舊臺場除却及淺濠工事にテツパード式淺濠船を使用し非常なる好成绩を挙げ岩石掘鑿工費低減のレコードを造りつゝあり ③ケーソン製作、進水設備 ④大正15年9月より事業開始、防波堤、護岸、埋立及淺濠工事等約5割の竣工 ⑤鹿兒島港修築事務所主任山田三郎氏 ⑥内務省下關土木出張所直營 ⑦昭和4年度 ⑧鹿兒島驛下車 ⑨櫻島、城山、礎邸、西南戦争遺跡

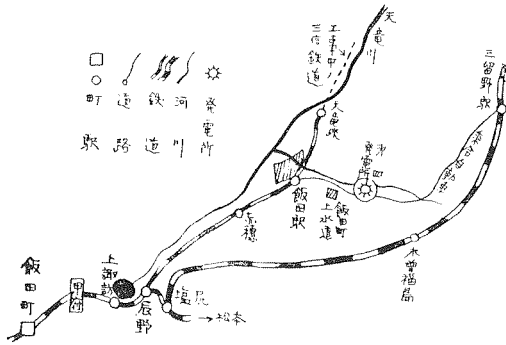
## ○發電所○

①小口川第三水力發電所建設工事 (常願寺川左小口川上流) ②貯水池三億三千萬立方尺堰堤高130尺幅400尺(重力堰堤)隧道1,500尺最大水壓約70キロ、鐵管延長4,700尺、落差2,100尺、③千垣驛よりダムまで6.2哩ケーブルを架す。ダムにはゲートクラッシャー及ロールミルを置き碎石、製砂をなす、横江驛よりダムまで布設、途中600尺、800尺、2050尺の捲揚あり ④ダム5分通り進行、隧道混凝土捲立及鐵管据付中、發電所建築に着手す ⑤上屋藤三氏、岡田正一氏 ⑥ダム直營其他富山市佐藤組請負 ⑦5年10月中の豫定 ⑧縣營鐵道横江又は千垣にて下車 小口川に沿ひ徒歩約4里にて現場事務所に達す ⑨千垣驛は立山登山口。

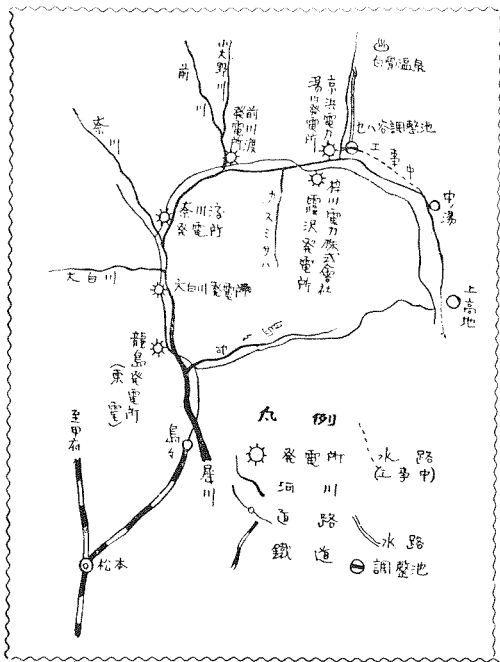
①松川第四發電所建設工事 (長野縣下伊那郡上飯田町松川入) ②再調整池及水槽の貯水量千萬立方尺、使用水量82立方尺 有効落差368.5、理論馬力3,354馬力、發電力1881k.w、水路延長1,380k.m、工費680.00圓 ③工事中、約7分の出來形 ④伊那電氣株式會社技師栗田鐵之助氏 現場監督菊池氏 ⑤五月女

# 著名工事 視察の手引

組 ⑦昭和五年十一月 ⑧中央線飯田町より辰野驛  
乗換伊那電氣鐵道飯田驛下車、陸路一里半自動車の  
便あり ⑨天龍峽(伊那電終點)最近渡功せる飯田町  
上水道浄水場。



①湯川電所犀川線工事 (南安曇郡安曇村) ②有効落差 733呎理論馬力 10,089馬力、發電力 6,000k.w.湯川發電所(既設)セバ谷調整池へ犀川線流を引用せんとするもの ③5分程度進行(隧道中より熱泉湧出して工事困難の隧道あり) ④京濱電力株式會社 吉田新氏 ⑤飛鳥組 ⑥松本驛乘換筑摩鐵道鳥々下車自動車四里半 ⑦上高地(取入口より一里半)徒歩、白骨溫泉等。



本欄は次の順序に配列記載します。  
①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備  
④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者  
⑦竣工豫定 ⑧道順 ⑨附近名勝地

## ○建築○

①新議院新築工事 (麹町區永田町) ②現代日本の代表的大建築(本誌大正15年1月號參照) ③鐵骨工事、混凝土工事、石材工事等に機械的大設備あり ④外飾略ぼなり窓枠取付工事中、内部大理石工事、造作工事中 ⑤大藏省營繕管財局にて懸賞募集せる設計に依り案を執り一局工務部にて設計並に監督。工事場主任技師小島榮吉氏、現場分擔主任技師栗原忠一氏技師肥塚照次氏、工學士中榮一徹氏 ⑥混凝土工事は全部直轄、他は部分的請負 ⑦昭和10年 ⑧東京驛より自動車往復20分、⑨首相官邸、藏相官邸、又相官邸、參謀本部等あり。

①警視廳新廳舎建築工事 (東京市麹町區櫻田門外) ②鐵骨鐵筋混凝土造6階建。延8,700坪 ③混凝土工事機械諸設備。其他各種混凝土試驗器を備え合理的に施工しつつあり ④鐵筋混凝土工事五階まで出來 ⑤大藏省營繕管財局工務部 ⑥技師井上一之氏、請負は清水組 ⑦昭和五年十二月 ⑧東京驛より徒歩約15分、市營自動車並に電車は櫻田門下車 ⑨司法部、海軍省外務省等、尙徒歩5分にして新議院建築場に至る。

①貯金局廳舎新築工事 (東京市麻布區飯倉、舊徳川邸跡) ②鐵骨混凝土造4層建、一部地階共5階、延12005坪。帳簿保管の爲特殊の間取を爲す、③混凝土工事機械設備あり ④内部工事中諸設備工事着々進行中 ⑤大藏省營繕管財局工務部 ⑥技師堀柴郎氏請負錢高組 ⑦昭和五年十一月 ⑧東京市電麻布狸穴下車。

①印刷局印刷工場建築工事 (東京市外濠川町四ヶ原) ②鐵骨混凝土造4階建延9,043坪。紙幣及有價證券の印刷を一般人に參觀せしむる爲、特に中二階を設く。外に附屬家120坪あり ③混凝土機械設備 ④内部工事中諸設備工事着々進行中 ⑤大藏省營繕管財局工務部 ⑥技師清水正喜氏、請負安藤組、⑦昭和五年八月 ⑧東京市電駒込橋より王子電車にて一里塚下車約一丁。

①中央郵便局新築工事 (東京驛前) ②鐵骨鐵筋混凝土造地上5階地下1階、延坪約10,000坪。地下電車を以て東京驛と連絡する設備あり、尙豫算の都合に依りコンベヤシユートをも以て郵便物を區分する設備も施される等 ③鐵骨組立用デリック3臺混凝土工事にばインアンダーを使用、その他諸設備 ④鐵骨略々完了、二階スラブ鐵筋組立中、一階床鐵筋混凝土打中 ⑤逓信省經理局營繕課工事係 ⑥逓信省經理局營繕課工事係關口技師 ⑦昭和6年12月25日 ⑧東京驛下車直ぐ前。東京驛、丸ビル、八重洲ビル等其他大ビルディング

①第一銀行新築工事 (丸の内永樂町二丁目) ②鐵骨鐵筋コンクリート五階建、地下二階屋上二階、延坪5,589坪、耐震耐火構造として最も特色ある設計、特に混凝土は最も正確なる模範的工法に依つてある ③インアンダー。バウチャープラント2組を最初より使用し、混凝土の合理的工法を確く實行してある ④外部石工事完成、窓面格子製作中(砲金製)内部大理石取付、床テラゾー壁及天井プラスター施工 ⑤設計第一銀行建築係西村好時氏 顧問工博内藤多仲氏 ⑥工事は清水組の實費清算請負にて現場主任桑畑四郎氏 ⑦竣工豫定昭和五年九月。